

リハビリテーション学科 作業療法学専攻 シラバスの変更ー

学年	ページ	科目名
1年	15	大学生活論
2年	73	救急救命医学
3年	112	専門支持科目特別演習

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HSO-01			
	●		●	●					
科目名	大学生生活論				単位認定者	須藤 あゆみ		授業内課題	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	OT	必修	1年	開講時期	通年	単位数	1 単位		
					授業形態	講義	授業時間数	30 時間	
							授業回数	15 回	
授業の概要	大学生生活を有意義に送るために必要となる姿勢、知識やスキルを身につける。具体的には、本学・各学科の教育方針の理解、大学での学び方（レポートの書き方、図書館の活用法等）、大学生生活の基礎知識（ネット社会の危険、消費者トラブル、交通ルールとマナー等）、健康に関わる知識（睡眠・食生活、ドラッグの危険性、大学生が会うところの問題等）を身につける。								
到達目標	1. 大学生・社会人としての基本的マナーを身につける。 2. 大学生生活を有意義に送るための知識やスキルを身につける。 3. 大学での学びを基盤に、学修の自己管理ができる。								
学修者への期待等	大学生生活を有意義に送るために設定した科目である。自己の目標を叶えるために、積極的に学ぶことを期待する。さらに多くの仲間をつくり、いろいろな考えに触れてほしい。								
回	授業計画				準備学修			担当	
1	学内ガイダンス（本学の教育方針）				科目専用の授業ノートを準備する。学生便覧を読んでくる。（概ね30分程度）			大和田 宏美	
2	大学生生活での学び1（カリキュラム）				学生便覧とシラバスを読んでカリキュラムを確認してくる。（概ね30分程度）			齋藤 佑樹	
3	大学生生活での学び2（交流会1 学生自己紹介）				授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）			須藤 あゆみ	
4	大学生生活での学び3（交流会2 学生間交流）				授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）			須藤 あゆみ	
5	大学生生活での学び4（図書館利用 文献検索の仕方）				授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）			阿部 奈津紀 大橋 孝子	
6	大学生生活での学び5（授業の受け方 ノートのとり方）				授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）			熊谷 竜太	
7	大学生生活での学び6（自己学修 予習復習）				授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）			熊谷 竜太	
8	大学生生活に関わる基礎知識1（学校生活のルール）				大学生とは何かを考えてくる。（概ね30分程度）			学生総合支援センター 増子 克哉 須藤 あゆみ 大橋 孝子	
9	大学生生活に関わる基礎知識2（新生活での注意点 生活トラブル 交通ルール）				授業内容をノートにまとめ復習する。（概ね30分程度）			学生総合支援センター 増子 克哉 須藤 あゆみ 大橋 孝子	
10	大学生生活に関わる基礎知識3（ネットの危険 情報モラル、ハラスメント）				情報モラルやハラスメントについて調べてまとめる。（概ね30分程度）			齋藤 佑樹 熊谷 竜太 大橋 孝子	
11	大学生生活に関わる基礎知識4（消費者トラブルについて）				消費者トラブルとは何か考えてくる。（概ね30分程度）			学生総合支援センター 増子 克哉 須藤 あゆみ 大橋 孝子	
12	健康に関する知識1（睡眠 食生活 ドラッグの危険性）				健康に関して調べ、まとめる。（概ね30分程度）			飯室 勉 学生総合支援センター 増子 克哉 須藤 あゆみ 大橋 孝子	
13	健康に関する知識2（大学生が会う心の問題）				授業内容をノートにまとめて復習する。（概ね30分程度）			神山 直子 大橋 孝子	
14	健康に関する知識3（感染症対策）				授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）			千葉 由里	
15	先輩から学ぶ大学生生活				授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）			須藤 あゆみ	
教科書	特になし								
参考文献	特になし								
備考	1、2、5、8～13回はPT・OT合同授業です。大学生生活論専用のノートを持参し、授業ノートを作成してください。最終授業終了後提出してもらい、採点し返却します。								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	RO-1-D&R-11				
		●		●						
科目名	救急救命医学				単位認定者	伊藤 大亮		試験（筆記）	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	P T	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題	40 %
	O T	必修	2年			授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	救急医療とは、一般市民による心肺蘇生法を含めた応急手当、119番通報と救急車の出動、救急隊員や救急救命士による現場での応急処置や救急搬送などの病院前救護から、救急室での救命治療、ICUでの重症患者管理等をいう。本講義では、理学療法士及び作業療法士の関わりも含め、緊急を要する病態や疾患・外傷の基礎的な知識と考え方、心肺蘇生・応急処置について学修する。									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命医学について対象となりうる疾患、外傷について理解し説明できる。 救急救命医学における理学療法士、作業療法士の関わりを理解し説明できる。 災害医療について理解できるようになる。 									
学修者への期待等	医療従事者の一員である理学療法士、作業療法士として、救急救命の知識・技術を修得でき、実践できるように努めてください。									
回	授業計画				準備学修			担当		
1	応急手当の基礎知識① (応急手当と救命処置)				教科書の該当ページを予習すること。(概ね30分)			横山 亜矢		
2	応急手当の基礎知識② (倫理と法律、救急医療体制について)				教科書の該当ページを予習・復習すること。(概ね30分)			横山 亜矢		
3	傷病者の管理、止血法 ・反転授業（実習）				テキスト§3その他の応急処置Ⅰ・Ⅱにて予習すること(概ね30分)			横山 亜矢		
4	搬送法 ・反転授業（実習）				テキスト§3その他の応急処置Ⅳにて予習すること(概ね30分)			横山 亜矢		
5	各症候群についてとその対応				教科書の該当ページを予習・復習すること。(概ね30分)			横山 亜矢		
6	病気に対する応急手当				教科書の該当ページを予習・復習すること。(概ね30分)			横山 亜矢		
7	けがに対する応急手当				教科書の該当ページを予習・復習すること。(概ね30分)			横山 亜矢		
8	現場での応急手当の実際				教科書の該当ページを予習・復習すること。(概ね30分)			横山 亜矢		
9	災害医療の基礎知識				災害医療に関する知識について調べておくこと。			伊藤 大亮 江川 新一		
10	わが国の災害医療体制とリハビリ				災害医療に関する知識について調べておくこと。			伊藤 大亮 江川 新一		
11	避難所運営ゲーム(HUG)①グループワーク				避難所運営ゲーム(HUG)について調べておくこと。			江川 新一 坂上 尚穂 佐々木 広人 荒牧 隼浩 伊藤 大亮 齋藤 佑樹 高橋 慧		
12	避難所運営ゲーム(HUG)②グループワーク				グループワークの課題作成をしておくこと。					
13	手当・一次救命処置(BLS)の実際(1)グループワーク				BLSについて、予習しておくこと。			坂上 尚穂 佐々木 広人 荒牧 隼浩 伊藤 大亮 須藤 あゆみ 戸田 祐子		
14	手当・一次救命処置(BLS)の実際(2)グループワーク				BLSについて、予習・復習しておくこと。					
15	手当・一次救命処置(BLS)の実際(3)グループワーク				BLSについて、予習・復習しておくこと。					
教科書	「改訂6版 応急手当講習テキスト 救急車がくるまでに」 制作 一般財団法人 救急振興財団 東京法令出版									
参考文献	災害リハビリテーション標準テキスト/医歯薬出版株式会社									
備考	クラス編成 1回目～12回目：P T・O T 合同、13回目～15回目： 3クラス編成PTはABクラスに分かれて実施、OTは単独実施									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	RO-3-SPS-01			
	●	●	●	●	●				
科目名	専門支持科目特別演習				単位認定者	齋藤 佑樹		試験(筆記)	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	OT	自由	3年	開講時期	通年	単位数	2 単位	評価の方法	
					授業形態	演習	授業時間数		60 時間
							授業回数		30 回
授業の概要	本講義では、卒業後の活動における理学療法士・作業療法士として必要な総合的能力を統合することを目的とする。とくに、基礎医学・臨床医学分野に関して3年間で学んだ基礎的な知識および技術を整理し、専門職として活躍できるよう学修する。								
到達目標	1. 臨床医学分野に関して3年間で学んだ知識と技術を整理し、臨床応用ができるようになる。 2. 臨床医学の知識と技術を修得し、作業療法を実践的に展開できるようになる。								
学修者への期待等	1. 授業で使用する資料に従って予習すること。 2. 復習は授業の終わったその日のうちに必ず行うこと。 3. 授業で理解できなかったところはそのままにせず、自分でも調べ、疑問は質問すること。								
回	授業計画				準備学修				担当
1	解剖生理学 (植物機能) 1 発生と組織、代謝				事前に配信される問題を解いて授業に臨むこと。(概ね60分程度)				山口 志津枝
2	解剖生理学 (植物機能) 2 循環器系 (動脈・静脈、血液)								山口 志津枝
3	解剖生理学 (植物機能) 3 循環器系 (心臓、循環の生理)								山口 志津枝
4	解剖生理学 (植物機能) 4 消化器系								齋藤 佑樹
5	解剖生理学 (植物機能) 5 呼吸器系								齋藤 佑樹
6	解剖生理学 (植物機能) 6 泌尿器系、内分泌系								高橋 慧
7	解剖生理学 (動物機能) 1 中枢神経								齋藤 佑樹
8	解剖生理学 (動物機能) 2 末梢神経								齋藤 佑樹
9	解剖生理学 (動物機能) 3 骨格筋								山口 志津枝
10	解剖生理学 (動物機能) 4 感覚								戸田 祐子
11	運動機能学1 骨、関節、神経								山口 志津枝
12	運動機能学2 上肢、体幹								山口 志津枝
13	運動機能学3 下肢 歩行								山口 志津枝
14	運動機能学4 バイオメカニクス 他								山口 志津枝
15	人間発達学								熊谷 竜太

回	授業計画	準備学修	担当	
16	精神医学1 精神症状	事前に配信される問題を解いて授業に臨むこと。(概ね60分程度)	須藤 あゆみ	
17	精神医学2 統合失調症他		須藤 あゆみ	
18	精神医学3 認知症		須藤 あゆみ	
19	病理学1 感染		熊谷 竜太	
20	病理学2 炎症、腫瘍		熊谷 竜太	
21	病理学3 病理所見、病因		熊谷 竜太	
22	整形外科1 骨折、関節リウマチ、OA		高橋 慧	
23	整形外科2 脊柱・脊損、切断 他		高橋 慧	
24	内科学1 循環器疾患、代謝性疾患、呼吸器疾患		高橋 慧	
25	内科学2 消化器疾患、内分泌疾患、肝疾患 他		高橋 慧	
26	臨床心理学1 防衛機制、学習理論		熊谷 竜太	
27	臨床心理学2 心理検査・心理療法		熊谷 竜太	
28	神経内科学1 脳血管障害、高次脳機能障害		戸田 祐子	
29	神経内科学2 末梢神経障害、筋疾患、変性疾患他		戸田 祐子	
30	リハビリテーション医学 (臨床リハ医学)		熊谷 竜太	
教科書	1・2年次で購入した教科書を使用			
参考文献	後日指定する			
備考	16~18 PTOT合同			

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--